

小中学生の通学時の課題解決策は

答 てくてく登校を推進していく



大宜見 洋文 議員

問 集団登校を復活させる時期と考えるが、どうか。

教育長 集団登校については、現在検討していない。

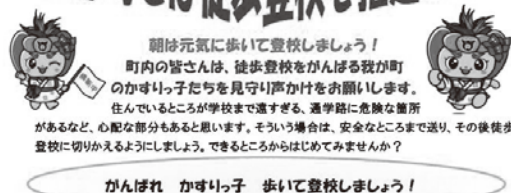
問 集団登校復活をテーマにPTA・老人会、女性会、青年会の皆さんを一堂に会して熟議の場が持てないか。

教育長 集団登校復活をテーマとした会議は、現在検討していない。

問 議会報告会の意見交換の際に、朝の登校時の公民館前の自家用車の混雑に対して、自治会長、JAの管理職の方々から敷地内での事故の不安もあり、対策はないかという切実な訴えがあった。学校の所在の地域住民からも苦情が多い。学校側も自家用車での登校に対応に苦労している。一方で保護者の皆さんも子ども1人で歩かせるのはとても危険、ストレスがたまる、全てが悪循環に感じる。議会報告会の意見交換も議論が進

んでいた。昔は集団登校という、子どもたちと一緒に登校させる文化、そういう時期があった。議論をする場が必要ではないか。

南風原町では徒歩登校を推進します



徒歩登校の推進

教育長 各学校で、通学時の車の送迎の問題があることは、認識している。対策として、車で送迎して降りる場所、どこかに指定するとかの検討の余地はあるが、根本的な解決は、徒歩登校と考える。教育委員会としては、各学校を通し保護者に車送迎の路上駐車に対する渋滞問題が出てくることを再度周知するとともに、

に、てくてく登校の目的も伝えながら、通学時の課題解決に努める。

問 集団登校で、子どもたちにも万歩計を持たせて、どれだけ歩けたよということでも何かもらえとか、インセンティブが与えられるような、ゲーム感覚で登校できるような、歩くのが楽しくなるような仕組みづくり、ほかにいろいろな意見を持っている人たちがいる。熟議する、議論をする場が必要ではないかなと改めて思うが、どうか。

教育長 必要があれば学校運営協議会で、議論されると考える。

一こんな質問もしました

- 待機児童数は
- 公共施設利用の際の減免要綱について
- 「生涯活躍のまち」とは
- 本町の防災対策について
- 運用システム変更したmobiについて